

廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課浄化槽推進室

1. 事業の概要

人口増加や経済発展等による水環境の悪化が世界各地で進みつつあることから、水環境の保全について我が国の技術支援を求める国が増えてきている。特に中国は、水環境の悪化が深刻なことから、今年4月に行われた温家宝  
国務院総理と安倍総理との首脳会談後に両国の外務大臣により署名され  
た日中共同文書の中で、「渤海・黄海区域及び長江流域などの重要水域  
における水質汚濁防止について協力を実施する」とされたところである。また、各国の汚染された水は、農産物や海域などを通じて、間接的に我が国に影響を与える可能性があり、我が国自身の問題としても対応が急がれている。

本年6月に閣議決定された「21世紀環境立国戦略」の中で世界の水問題の  
解決に向けた国際的取組の一つとして取り上げられているように、浄化槽を普  
及させることにより水環境の問題解決が可能であるが、対象国の社会資本や経  
済状況により、日本のシステムをそのまま移設すると現地に適合せず浄化槽が  
普及できないこともあり、水環境保全の目的を果たせないおそれが大きい。

国際貢献を効率的に行うことを考えると、水環境の保全のために実際に浄化槽を設置するプロジェクトを立ち上げる前に、地域特性を調査して浄化槽の必  
要性や問題点等を抽出し、浄化槽の整備による効率的な水環境の保全が可能な  
地域の選別方法を提示するとともに、長期的視点も含めた浄化槽の普及のため  
のモデルの提案を行う必要がある。

2. 事業計画

中国において以下の事業を実施する。

実態調査並びに浄化槽システム導入時の問題点及び浄化槽の必要性の抽出。

浄化槽による効率的な水環境保全が可能な整備地域の選定方法の提示。

現地の実情に合わせた浄化槽等の技術の開発。

普及のための制度、人材、汚泥処理システム、浄化槽普及可能な状況に達成するまでの間のし尿処理体制等のビジネスモデルの提示。

技術協力のための現地での人材の育成、人材情報の集積。

3. 施策の効果

環境協力プロジェクトを今後、効率的に行うことが可能となる。

世界の水環境が効率的に保全されることにより、我が国に対する間接的な影響が削減される。

4. 備考

調査費 39,050千円

浄化槽技術導入可能性調査費(民間団体1箇所)

# 浄化槽技術導入可能性調査

多くの国々で水環境問題 ⇄ 農産物、海産物等を通じ影響

当該国で浄化槽に適した地域で整備しないと普及はしない

浄化槽により解決は可能

現地の実情に適合したシステムにしないと普及はしない

技術移転の前に各国の実情を調査し

必要性の検討や問題点の抽出が必要

汚水処理の実態調査、問題点の抽出、必要性の検討

調査国の実態調査(例)

汚濁状況 家屋排水形態 汚水処理の状況 維持管理主体 制度 人材 意識 費用 技術 その他の基盤

浄化槽システムの導入の必要性の検討

浄化槽システムの導入の問題点の抽出(例)

費用 制度 人材 技術

我が国のし尿等処理技術の発展と社会状況の整理、類型化

浄化槽による効率的な水環境保全が可能な整備地域の選定方法提示

モデル地域の詳細調査

浄化槽システムの導入地域の選定方法提示

現地の実情に合わせた浄化槽等の技術開発

現地状況に合わせた浄化槽の改良

現地の汚水処理設備への浄化槽技術の導入

普及のための制度、人材、汚泥処理システム、浄化槽普及可能な状況に達成するまでの間のし尿処理体制等のモデルの提示

問題点の解決策の検討

浄化槽ビジネスモデルの提言

浄化槽整備困難な場合のし尿処理体制の提示

技術協力のための現地人材の育成・人材情報の集積

現地でのセミナー技術研修

人材情報の集積